



～ボランティアをして感じたこと～

- いろいろなブースの写真を撮らせてもらう時に、様々な世代や国籍の方と関わりました。
- 内容が充実していて楽しめた。
- ボランティアの仕事はちゃんとしたけど、学ぶことがまだまだいっぱいです。
- World festaってこんなに大きなイベントだとびっくりでした。すごいと思いました。
- 久々の両会や初対面でも深山の人々と仲良くなれて良かった。
- たくさんさんのボランティア関係者の方々とお話できたのがとても良い経験になりました。
- 初めてエコの仕事をして自分が成長させてもらいました。



参加団体の声

参加団体：62団体

【東北インターナショナルスクール】

新しく建設された展示棟での開催となりましたが、開催場所がまとまっていることでも見やすくなり、より世界各国のブースを楽しむことができました。スタッフの皆様もとても親切で、場内をスムーズに見学できました。ごみの分け方も徹底しておりました。



【NPO法人地球のステージ】

1つの会場に全てのブースが入ったことで、来場者の方には全てのブースをまわりやすくなったのではないかと思います。今年は若者男女、国籍を超え、様々な方にお立ち寄り頂けたと思います。



【宮城青年海外協力協会】

場所などが変わっての地球フェスタということで、どうなるんだろうとワクワクしていました。フェスタ全体の雰囲気共有ができる、より一体感のあるフェスタでした。



～フェスタを支えてくださった団体の皆様、ご協力ありがとうございました～

- ＝助成＝
公益財団法人 未来の東北博覧会記念国際交流基金
- ＝協賛＝
空調企業株式会社、仙台市日中友好協会、イン料理サムサム(ハラル)、認定NPO法人IWY、スマッシュユニオン仙台、宮城県ユニセフ協会
- ＝後援＝
仙台市

＝参加団体＝

- アイセック仙台委員会
- ICVEジャパン
- 認定NPO法人 IWY
- アミラン株式会社
- アメリカ家庭料理モンタナ
- インド料理サムサム(ハラル)
- ACE仙台グループ
- オーボン フェルマン
- オリエンタルダイニングバー-Middle Mix
- カチエンナム ソムワン
- 環境サークル-EVOL.
- 東宮交際研究所セツポファミリークラブ
- 公益財団法人AFS日本協会宮城支部
- 公益財団法人 仙台観光国際協会(Sentia)
- 公益財団法人 みやぎ・環境とくらしネットワーク(MELON)
- 公益財団法人 仙台ユネスコ協会
- 公益財団法人 長寿社会文化協会
- 公益財団法人 宮城県地方本部
- 公益財団法人 宮城県地方本部
- 公益財団法人 宮城県地方本部
- 公益財団法人 宮城県地方本部
- サリユルンヌの会
- サンジバル ヒラフ
- CEA in SENDAI
- シャブラニール仙台・ポンドゥクの会
- ストリートキネドレン芸術祭
- スラブ料理アリュオンカ
- スリランカアフォーラム宮城
- 仙台エスペラント会
- 仙台サンバクラブ
- 仙台JOCS(海外医療協力会)
- 仙台中国ヤンコ踊りチーム
- 仙台市日中友好協会
- 仙台ベトナム学生・青年協会
- 仙台ボランティア英語通訳カイド GOZAIN
- 仙台バサイア交流連絡会
- DAMAYAN
- ダルハン文化
- Dance Mix-e
- 地球の子とも通信
- チリ支援友の会
- 東北インターナショナルスクール
- 東北大学国際交流支援サークル @home
- 東北大学留学生協会 TUJSA
- 特定非営利活動法人 アマニ・ヤ・アフリカ
- 特定非営利活動法人 地球のステージ
- 独立行政法人 国際協力機構東北支部 (JICA東北)
- 日本ユースピア協会 宮城県連合会
- 一般財団法人 日本国際新聞対策機構
- 一般財団法人 日本国際新聞対策機構
- パンドライナナー
- ピースナック
- 宮城学院女子大学国際支援活動Triangle
- みやぎ行政法務研究会
- 宮城県日中友好協会
- 宮城ユニセフ協会
- 宮城青年海外協力協会
- 宮城青年国際交流機構 (宮城IYEO)
- 宮城善通訳者の会
- 有限会社 RAKUGO
- 財務大臣・中央銀行総会議員準備



せんだい地球フェスタ実行委員会:

石川綾香 内藤詩音 石原輝 菅野万寿美 金亜貴 佐々木賢太 加藤通 小原峻 伊藤さつき 中島由美 須藤伸子
HP | <http://senfes2015.jimdo.com/> Facebook | <https://www.facebook.com/SendaiWorldFesta>

事務局: (公財)仙台観光国際協会 国際化事業部 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 仙台青葉ウィングビルA棟11階 TEL:022-268-6260 FAX:022-268-6252

せんだい地球フェスタ 2015



～報告書～

日時 2015年10月25日(日)
10:00～16:00
会場 仙台国際センター展示棟



多文化共生、国際交流、国際協力の活動をしている団体が仙台国際センターに集まり、歌や踊り、世界の食べもの、体験ワークショップなどを行う「せんだい地球フェスタ」も今年で24回目の開催となりました。

今年のテーマは「Peace everywhere ~たくさんさんの平和~」
11人の実行委員がテーマに即して数か月にわたり準備を進めました。

当日は62の参加団体、92人のボランティアがフェスタを盛り上げ、およそ4,000人の市民に楽しんでもらいました。

実行委員長の メッセージ



実行委員長 石川 駿喜

おぼつかない手つきの子供たちが、何年ぶりに折ったんだらうか〜と仮きながら折鶴を作る大人の方々の姿や光景が、フェスタを過ぎて完成してきた。今回、フェスタに見えていると、目の前に広がってきた。今回、フェスタに参加する方々と「平和」について考え直す場を持ちたいと思い、実行委員会として事務局の方々と一緒に企画を進めてきました。その一つに、折鶴を折っている時間を平和への思いを聴せる時間にもしておくと意図した作品を鶴パネルの企画があり、閉会式で完成した作品を披露した時に起こった歓声は強く心に残っています。また会場では、華やかなステージパフォーマンスや活気あるブースのみなさんがいて、来場者のみなさんとも笑顔あふれます。フェスタになったことを、とても嬉しく思います。このよき成果を得られたのも、全てはフェスタを支えてくれた方々のおかげで、本当に感謝しており、共に活動できたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。

メイン会場の様子

今年のフェスタは、これまでの仙台国際センター会議棟から場所を変えて、平成27年4月にオープンした展示棟での開催となりました。



お昼時には、
世界の料理を楽しむ
人たちがいっぱい



子どもたちに大人気！
外国の絵本のおはなし会



ドキュメンタリー映画 『ハーフ』上映会

5人の「ハーフ」たちがかつて単一民族と書われてきた国において、多文化・多国籍であるとは、どういふことなのかを探る日々を綴ったドキュメンタリー映画『ハーフ』を上映しました。映画では、主人公であるハーフたちの生い立ちや、家族の関係、教育など彼らの体験が語られています。



来場者の声

○素晴らしい人々に感動。各々多様な苦勞があることも再確認。エネルギーと心が聞かれる感じ。なるべく多くの人が見られる機会があればいいと思う。
○私は日本人です。だけど、「私は何？誰？」を考えます。そんな私にハーフの方の言葉と行動が光を差してくれた映画でした。そして「日本人はゆっくり、焦ってはいけない」という矢野さん（映画の登場人物）の言葉が一層ひびきました。
○映画の中にもあったが、私の中に日本人、外国人の2つの種の概念が持たなくて、Mix Rootsという人たちに對しての考え方、受け入れ方を今後持っていくかかればいけないと感じた。

ワークショップ体験

世界で起こる様々なことについての気づきや、世界と自分とのつながりや考えの体験の場として、開発教育ワークショップを開催しました。

【プログラム】

- ①世界がもし100人の村だったら
- ②世界一大きな授業



ワークショップ 千葉 彬人

美味しい世界の料理や楽しいイベントでフェスタが盛り上がりつつある中で、小学生から主婦や会社員、留学生と「教育」について一緒に考えています。参加者の反応や話を聞いていると、それぞれにアツい思いを持っていて、興味深い言葉が参加者からどんどん飛び出しています。ファシリテーターとしてこんなにワクワクしたワークショップは初めてです。準備を手伝っていただいた留学生交流委員や地球市民の皆さま、本当にありがとうございます！
委員や地球市民の皆さま、様々な職業の人たちと一緒に世界について考える機会があれば良いと思います！

フィリピン台風・ ネパール地震 報告会

今年のフェスタでは、フィリピンとネパール支援の報告会も行いました。
2013年11月のフィリピン・タクロバタンで大型台風と、2015年4月ネパールの首都カトマンズを襲った大地震。当時、仙台に住むフィリピンやネパールの人たちが中心となり街頭募金やチャリティイベントを行いました。多くの仙台市民が支援をし、その思いは現地に届けられました。
今回は、それぞれの支援活動と国の現状について、在仙のフィリピン人グループ (DMAYAN & THE KAPATIRAN)、ネパール人グループ (Nepso) が報告してくれました。



ネパール地震
報告会の様子

外国人による 「たのしく日本語トーク！」

楽しい
トリオ賞

今年の日本語弁論大会は、テーマを「あなたが感じるピース(PEACE)のひととき」として、漫才やリレー形式など、グループでの参加も可能な自由なスタイルで発表してもらいました。



日本での滞在歴、日本語の習熟度もさまざまな出演者が、それぞれの持ち味を生かしたパフォーマンスを披露して下さいました。
楽しく、おかしく、また、日本人には気づかない視点からのスピーチに感心させられたり...
審査をしていても、とても楽しかったですし、みなさんの一生懸命な姿は感動的でもありました。
このような形のコンテストでも、伝わるものが多いような気が致します。このように観客のみならず、審査員も楽しんでほしいです。

審査員 板橋 恵子さん (Date fm DJ・パーソナリティ)

企画チーム 和泉いづみ

最後の最後までクロージングに間に合わないのではないかと不安でしたが、ブースに立ち蓄ってくださった来場者の方々のフェスタのスタッフ、いろんな方のご協力のもと完成させることが出来ました。「折り鶴を折る」と話してきてくれた子供たち、外国の方、「久しぶりだからうまく折れるかな不安だわ。」と話してくださったご年配の方々の折り紙の笑顔が忘れられません。さんだい地球フェスタには、私が高校生の時、一度だけお客さんとして参加したことがありました。あの時から変わらないうつたかきい雰囲気、今年こうしてスタッフとして参加できたことをとても嬉しく思います。



実行委員会「平和企画」 ～おりづる制作～

今年の地球フェスタのテーマ「Peace everywhere」～たくさんの平和～の企画として、来場者の方々に、おりがみで鶴を折っていただくようにお願いしました。折っていただいた折り鶴は、世界地図の下絵に直接貼り付け、最終的に世界地図の貼り絵を完成させました。鶴を折っていただくことで、数千人の来場者が自分たちの国や地域、日本、そして世界の平和について考える日となりました。この貼り絵は、この後、広島の「原爆の子の像」(広島平和記念公園内)へ届けました。

